

# 八碁連だより

令和6年9月号  
第395号



妙経寺（寺町）

## 巻頭言

発行日 令和6年9月1日(日)  
発行所 八王子囲碁連盟  
住 所 八王子市長房町 506-13  
電 話 042-667-1500  
発行者 澤田 信夫  
編集者 荒畑 昭一



<https://hachigoren.com>

八王子囲碁連盟

検索

### 八王子囲碁連盟の目的

八碁連は市民が、伝統文化である囲碁を通じて親睦を図り、健康が維持できるような機会を提供し棋力の向上を目指すとともに、囲碁の啓蒙と普及に努めることを目的とする。

## ふるさとの深川八幡祭り

大和田囲碁同好会会長 鈴木浩治

8月中旬、各町会一斉に、御仮家・神酒所をたて山車や子供神輿、大人神輿を出し、自分の町内を練り歩く、神輿には沿道の至る所から担ぎ手に水をかける、沿道でのぶっかき氷・スイカ・ラムネ等々の振る舞い、ハイライトは富岡八幡宮に町神輿が集結し深川界限を連なつての練り歩き、楽しい思い出のお祭りです。

私のふるさとは、地下鉄東西線が通る門前仲町に隣接する深川牡丹町一丁目です。近隣一帯は深川八幡様の氏子で、毎年8月15日頃に行われる深川八幡祭り（富岡八幡宮例大祭）が行われます。

この祭礼は寛永19年（1642）に將軍家光の長男（のちの家綱）の誕生の祝賀祭として始まり、やがて夏のお江戸の一大イベントに定着したようです。

日枝神社の山王祭、神田神社の神田祭りと並んで「江戸三大祭」のひとつです。

現在、3年に1度、八幡宮の御鳳輦（ごほうれん）と各町内の町神輿が連合渡

御を行う年は本祭りと呼ばれ、50 数基の町神輿が深川界限を連なって練り歩く光景は、迫力満点のお祭りです。

2024 年の今年は陰祭(ちなみに本祭⇒御本社祭⇒陰祭というローテーション)です。三種類の例祭の中でも、当然一番盛り上がるのは本祭！です。

神輿と言えば深川！

その昔、深川に住んでいた時の豪商、紀伊国屋文左衛門が総純金張りの神輿 3 基を奉納し、宮神輿としたことから「神輿深川」と呼ばれるようになったとか。そんな豪華な宮神輿ですが、関東大震災で焼失！現在の宮神輿は平成 3 年(1991)に当時の佐川急便の会長さんが奉納したものだそうです。

ちなみに、この現在の宮神輿のスペックは総重量 4.5 トン！使用された純金は約 24 kg！ダイヤモンド 10 数個(最大 7.0ct)を使用！ちりばめられたルビーは何と 2000 個！その他宝石多数の絢爛豪華さです。

とにかく大きさ・重さ・豪華さで間違いなく日本一の御神輿である富岡八幡宮の宮神輿(一の宮)ですが、そのあまりの大きさと重さのため、平成 9 年(1997)に、担げるサイズの宮神輿(二の宮)総重量 2 トンを改めて作ったそうです。

最大の特徴は「水かけ」！

深川八幡祭り最大の特徴は何と言っても「水かけ」にあります。その名の通り渡御中に沿道の至る所から担ぎ手に水をかけることから「水かけ祭り」とも呼ばれているのです。

意外なことに水かけは、江戸時代から続くものではなく、昭和初期頃からのものだとか。そもそもはお清めの風習で足元にかけていた水が、暑さ対策に変わったそうです。

今年は約 60 年振り、この祭りを見物する予定です。

## 理事会議事録(抄)

### 令和 6 年度 第 4 回理事会 議事録

日時： 令和 6 年 7 月 27 日(土曜日) 9 時から 12 時

場所： 東浅川保健福祉センター 4F 第 2 会議室



出席者：澤田会長・浅川（議事録作成）・木村・荒畑・棚原・小西各理事

#### 会長報告

- ・7月18日、八王子文化連盟の会議に出席（市民大会の件・クリエートホール）、ポスターの作製ルール・配布方法・立て看板のフォーマット等の説明があった。
- ・7月25日、第2回多摩地区市町対抗囲碁団体戦の会議に出席。（ルミエール府中2F講習会議室）
- ・7月27日14時、東浅川保健福祉センター4F第2会議室にて懇談。  
7月9日開催された日本棋院役員の改選に伴い、関達也四段が常務理事の普及担当に就任し、林部長と八碁連の状況を視察したいとの事で来館、八碁連から澤田会長、浅川副会長と日本棋院八王子囲碁連盟支部常任幹事南正一郎氏と研修部長の三島敏明氏、初心者教室久島世次氏の5人で状況説明をした。
- ・初心者教室の指導員を増やすべく、候補者を各同好会の会長に要請した。  
（現状未回答）

#### 各理事報告

- ・持ち回りの道具保管について、恩方囲碁同好会の藤森力会長・岡本副会長の好意によって、農村改善センターに保管して頂く事になった。
- ・第6回多摩地区市町対抗囲碁団体戦出場選手リストと指導碁の受講者を事務局に報告（7月15日）
- ・八碁連だより（9月号）の予定記事は、「巻頭言」（大和田）、中野囲碁同好会生きいき大会の結果報告、第34回三段以上・二段以下八碁連囲碁大会のお知らせ、令和6年度傘寿の対象者名簿等を掲載予定。
- ・6月30日子ども大会が無事終了した。
- ・子ども大会において、来賓対応の在り方に付いて反省あり。
- ・第6回多摩地区市町対抗囲碁団体戦の参加費を7月18日に納入した。
- ・八碁連前期の会費は、全同好会より納入された。
- ・第6回多摩地区市町対抗囲碁団体戦結団式・8月10日東浅川保健福祉センター4F第2会議室（確保）
- ・第5回理事会・8月17日東浅川保健福祉センター4F第2会議室（確保）

- ・第6回理事会・9月28日東浅川保健福祉センター4F第2会議室（確保）
- ・第8回級位認定囲碁大会・9月15日東浅川保健福祉センター（確保）

#### 議案討議事項

- ① 第8回級位認定大会（支部常任幹事 南 正一郎）の役割分担及び競技方式  
（別紙あり）

日時 令和6年9月15日（日）

場所 東浅川保健福祉センター

主催 日本棋院八王子囲碁連盟支部

共催 八王子囲碁連盟



昨年の市民大会

- ② 第74回八王子市市民文化祭について

令和6年11月3日（日・祝）

1. 参加費大人1,000円・高校生以下500円

2. 弁当は準備する

3. 大会の運営をする要員は、競技委員を含めて今後精査して、地区同好会会長に要請する。

- ③ 多摩地区市町対抗囲碁団体戦の選手結団式

東浅川保健福祉センター4F第2会議室

8月10日（土曜日）9時～12時

1. 団長浅川副会長挨拶及びタイムスケジュールを説明し、会場への行き方を決める。

2. 選手メンバーの紹介と自己紹介

3. 交流対局

- ④ 八碁連HPの運営について、プロジェクトチームを結成して検討する。

年末の会長会には、何らかの提案を出来るように。

## お知らせ

### ★第32回活きいき大会結果

【中野大会】令和6年7月28日（日）

会場 中野市民センター

参加者数（同好会別内訳）



中野大会全景

浅川	恩方	元八	中野	大和田	石川	台町	長房	南大沢	一般	非会員	計
5	16	7	13	4	7	1	7	6	0	0	66

Aクラス（八段～五段）（人員20名）

優勝：小川 浄二 南大沢／八段

準優勝：相澤 秀一 浅川／七段                      3位：澤田 信夫 長房／五段

Bクラス（四段A～初段）（人員22名）

優勝：小高 茂夫 石川／四段A→五段

準優勝：亀井 優太 石川／初段                      3位：保木 隆史 長房／四段

Cクラス（初段～6級）（人員21名）

優勝：木村 勇 南大沢／初段→二段

準優勝：宮寄 勲 恩方／1級                      3位：青沼 正義 長房／1級

### ★第34回八碁連囲碁大会（三段以上）（二段以下）

主催 八王子囲碁連盟（後援日本棋院、八王子市）

会場 東浅川保健福祉センター4階

競技方法 3～4クラス別のハンディ戦（八碁連方式）

会費 1,000円（昼食代を含む）

申込 各地区同好会会長を通して申し込む（八碁連会員に限る）

申込先 八碁連競技担当 木村 勇 宛

Eメール [isamudesu606@gmail.com](mailto:isamudesu606@gmail.com)

◆三段以上 ・日時 10月6日（日）午前9時10分から受付

・申し込み期限 9月22日（日）

◆二段以下 ・日時 10月20日（日）午前9時10分から受付

・申し込み期限 10月6日（日）

※当日は、「傘寿表彰」を併せて行いますので対象者は出席願います。

### ★令和6年度傘寿表彰対象者

本年傘寿を迎えられた方々は、12名でした。表彰式は、三段以上大会及び二段以下大会において行います。対象になられた方々は、それぞれの大会にご参列願います。八碁連会長から記念品を贈呈致します。

(令和6年度傘寿表彰対象者一覧は次号(10月号)に掲載致します。)

### ★研修部例会(東浅川保健福祉センター4F)

9月:9月14日(土)、9月21日(土)、9月28日(土)

※9月21日(土)研修部主催囲碁大会を予定しています。

10月:10月12日(土)、10月19日(土)、10月26日(土)

### ★入門初心者教室日程(東浅川保健福祉センター3F)

9月:9月14日(土)、9月21日(土)、9月28日(土)

10月:10月12日(土)、10月19日(土)、10月26日(土)

### 【編集後記】

表紙の妙経寺(みょうきょうじ)は、鎌倉時代の僧侶ゆかりの寺院。このお寺には、本尊の他に「鬼子母神」(きしぼじん)が祀られている。

昔から、「おそれ入谷の鬼子母神」と勝負ごとで“参りました!”の意で使われている、その鬼子母神である。

鬼子母神とは、「日本昔ばなし」によると、「のどかな狭山の村に、子どもをさらう鬼女が現れ、村に子どもがいなくなった。嘆き悲しむ村人を見て、お釈迦様は、鬼女の子どもを逆にさらって懲らしめたという。鬼女は改心してお釈迦様の弟子となり子どもを大切にす神となった。」というお話。

このお寺は、「八王子の鬼子母神」と言われているようで、鬼子母神が産んだ子供の数は、昔話の中でも、1000人とかの記述がある。子どもの神様として、子宝、安産、子育てとして祀られている。



幼少時の僧侶像

